

じねんご すず 次年子こわ清水

大石田町大字次年子 ～平成30年度選定～



里の名水・やまがた百選

そば街道を通り、次年子に向かうと、集落の手前に冷たい水が勢よく湧いている。葉山からの湧水は水量も豊富で、地元の水道にも使われている。「こわ」の名前は、その昔、山仕事や山越えの人々が、この水で喉を潤したが、大変な山道に「こわい」（「つらい」、「苦しい」の方言）と言っていたことによる。



〔管理者〕大石田町〔保全体〕次年子産業共同組合

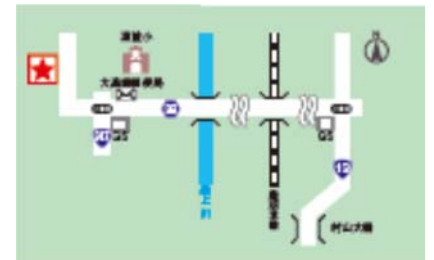
歴史や利活用

水受けは陶器製で、地元の次年子窯で製作されたもの。次年子窯の陶器は、県内外の有名老舗旅館の湯舟などにも使われている。湧水から、近傍の大高根山（やまがた百名山）を散策すれば、自然を満喫できる。

アクセス

（北緯 38.583992°、東経 140.287467°）

村山市内、国道13号線を通り、村山市櫛山の交差点を次年子方面に県道36号線を西に向かう。13km程進むとスノーシェッドがあり、さらに100m先、左側に「こわ清水」の標識。その直ぐ下にある。清水の脇に1、2台分の駐車スペースがある。



近くの見どころ

- <やまがた百名山> ◆ 大高根山
- <日本一の滝王国山形> ◆ ー
- <やまがた景観物語> ◆ 大石田町虹ヶ丘公園から見渡す最上川

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

